

ERBIYANHOU JIBING

临床医师速成手册

LINCHUANG YISHI
SUCHENG SHOUCHE

耳鼻咽喉 疾病

■ 主编 赵长青

速成



军事医学科学出版社

临床医师速成手册》系列丛书

耳鼻咽喉疾病

主 编 赵长青

副主编 马 敏

编 委 牛玉梅 刘学仁 王建亭

柴 福 安云芳 吕声锐

李青峰 邢奋丽 索利敏

刘 玲 薛金梅 张俊林

军事医学科学出版社

·北 京·

图书在版编目(CIP)数据

临床医师速成手册. 耳鼻咽喉疾病/赵长青主编.
-北京:军事医学科学出版社,2005

ISBN 7-80121-654-7

I.临… II.赵… III.①临床医学-手册

②耳鼻咽喉病-手册 IV.R4-62

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2005)第 042415 号

出 版: 军事医学科学出版社

地 址: 北京市海淀区太平路 27 号

邮 编: 100850

联系电话: 发行部: (010)66931034
66931048

编辑部: (010)66931050

传 真: (010)68186077

网 址: <http://www.mmisp.cn>

印 刷: 华润印装厂

装 订: 华润印装厂

发 行: 新华书店总店北京发行所

开 本: 850mm × 1168mm 1/32

印 张: 18.75

字 数: 481.5 千字

版 次: 2005 年 5 月第 1 版

印 次: 2005 年 5 月第 1 次

定 价: 35.00 元

本社图书凡缺、损、倒、脱页者,本社发行部负责调换

内 容 提 要

本书介绍了耳、鼻、咽、喉科的解剖学基础、各种常见疾病的症状、诊断、治疗及并发症的基本知识,通过对基础知识的学习掌握,使临床医师巩固并精通本专业的诊治方法。

《临床医师速成手册》 系列丛书编辑委员会

主 编 王 峻 萧传实

副主编 樊瑞华 贾林山

编 委 (以姓氏笔画为序)

王来远 王凤芝 王 琦 王 丽

刘素筠 乔振华 李小峰 李光来

李荣山 赵宝珍 鹿育萨 梁安国

策 划 樊瑞华 贾林山 王国晨

总前言

随着现代科学技术的发展,基础医学尤其是免疫学及分子生物学的深入,新知识、新技术层出不穷,使医学诊疗技术不断提高,从而使医学知识的更新周期明显缩短,临床医师必须不断地学习、补充新的医学知识才能跟上医学发展的步伐;同时,随着我国医疗制度的改革,以及执业医师法的出台,客观上对临床医师的要求越来越高,为了适应新时期对临床医学的更高要求,提高广大临床医师的技术水平,特组织临床工作多年且具有丰富医疗经验的临床各科中青年专家、教授编写了这套《临床医师速成手册》系列丛书。

本书在编写中力求突出以下特点:内容新,起点高,简洁明了,深入浅出,科学实用。对每一种病症从概念、诊断依据、诊断思维程序、治疗方法、预后等方面进行了详细论述,从而使广大临床医师能迅速掌握所学知识并应用于临床,尽快成为一名合格的临床医师,这是我们编写此套丛书的初衷,也是我们的最终目的。相信此套丛书的出版一定会使广大临床医师受益,并成为他们的良师益友、得力帮手。

由于此套丛书的作者是工作在临床第一线的中青年专家,时间紧,任务重,书中错误难免,希望广大读者批评指正。

《临床医师速成手册》系列丛书编辑委员会

2005年4月

目 录

第一篇 鼻科学

第一章 鼻科学总论	(1)
第一节 鼻科学涵盖的范围	(1)
第二节 鼻科学解剖、生理与临床的关系	(2)
第三节 鼻科疾病的症状学	(17)
第四节 鼻科疾病的检查学	(22)
第二章 鼻的先天性疾病	(31)
第一节 鼻部脑膜脑膨出	(31)
第二节 先天性后鼻孔闭锁	(33)
第三章 鼻外伤	(35)
第一节 鼻骨骨折	(35)
第二节 鼻窦骨折	(36)
第三节 脑脊液鼻漏	(40)
第四章 外鼻炎症性疾病	(48)
第一节 鼻前庭炎	(48)
第二节 鼻疖	(49)
第三节 酒渣鼻	(50)
第五章 鼻腔炎症性疾病	(52)
第一节 急性鼻炎	(52)
第二节 慢性鼻炎	(55)
第三节 萎缩性鼻炎	(59)
第六章 鼻窦炎症性疾病	(63)

第一节	概述	(63)
第二节	急性鼻窦炎	(65)
第三节	慢性鼻窦炎	(71)
第七章	鼻内窥镜手术	(79)
第一节	概况	(79)
第二节	基本术式	(81)
第三节	围术期的处理	(87)
第四节	并发症及预防和处理	(91)
第五节	鼻内镜手术的进展	(96)
第八章	鼻变应性疾病	(100)
第一节	变应性鼻炎	(100)
第二节	变应性鼻炎诊断标准及疗效评定标准	(108)
第九章	鼻中隔疾病	(113)
第一节	鼻中隔偏曲	(113)
第二节	鼻中隔穿孔	(118)
第十章	鼻出血	(121)
第十一章	鼻腔及鼻窦异物	(128)
第十二章	鼻窦炎的并发症	(133)
第一节	鼻源性的眶内并发症	(134)
第二节	颅内并发症	(137)
第十三章	鼻真菌病	(140)
第一节	曲霉菌病	(140)
第二节	鼻毛霉菌病	(145)
第三节	鼻念珠菌病	(147)
第四节	鼻孢子菌病	(148)
第五节	孢子菌丝病	(149)
第十四章	鼻囊肿	(150)
第一节	鼻前庭囊肿	(150)
第二节	鼻窦黏液囊肿	(152)

第三节	鼻窦浆液囊肿·····	(154)
第四节	上颌窦牙源性囊肿·····	(155)
第十五章	鼻 - 前颅底肿瘤 ·····	(158)
第一节	概述·····	(158)
第二节	鼻腔及鼻窦的良性肿瘤·····	(160)
第三节	鼻腔及鼻窦恶性肿瘤·····	(166)
第四节	恶性肉芽肿·····	(172)
第十六章	鼻部特殊感染 ·····	(176)
第一节	鼻硬结病·····	(176)
第二节	鼻结核·····	(178)
第三节	鼻梅毒·····	(180)
第四节	艾滋病及在耳鼻咽喉 - 头颈部的表现·····	(184)

第二篇 咽科学

第十七章	咽的应用解剖学及生理学 ·····	(188)
第一节	咽的应用解剖学·····	(188)
第二节	咽的生理学·····	(192)
第十八章	咽科疾病检查学 ·····	(195)
第十九章	咽科疾病症状学 ·····	(197)
第二十章	咽炎 ·····	(200)
第一节	急性咽炎·····	(200)
第二节	慢性咽炎·····	(201)
第二十一章	扁桃体炎 ·····	(203)
第一节	急性扁桃体炎·····	(203)
第二节	慢性扁桃体炎·····	(204)
第三节	扁桃体切除术·····	(206)
第二十二章	腺样体炎 ·····	(210)
第一节	急性腺样体炎·····	(210)

第二节	腺样体肥大	(210)
第二十三章	咽部脓肿	(213)
第一节	扁桃体周脓肿	(213)
第二节	咽后脓肿	(214)
第三节	咽旁脓肿	(216)
第二十四章	咽部异常	(218)
第一节	咽部异物	(218)
第二节	咽部灼伤	(219)
第三节	咽部狭窄及闭锁	(220)
第二十五章	咽部肿瘤	(222)
第一节	鼻咽部肿瘤	(222)
第二节	口咽部肿瘤	(226)
第三节	喉咽部肿瘤	(228)
第二十六章	阻塞性睡眠呼吸暂停综合征	(230)

第三篇 喉科学

第二十七章	喉的应用解剖学及生理学	(233)
第一节	喉的应用解剖学	(233)
第二节	喉的生理学	(241)
第二十八章	喉的检查法	(245)
第一节	喉的外部检查	(245)
第二节	间接喉镜检查	(245)
第三节	直接喉镜检查	(248)
第四节	纤维喉镜和电子喉镜检查法	(249)
第五节	动态喉镜检查	(250)
第六节	喉的影像学检查	(250)
第七节	喉的其他检查	(251)
第二十九章	喉的先天性疾病	(253)

第一节	先天性喉蹼·····	(253)
第二节	先天性喉软骨畸形·····	(254)
第三节	先天性喉喘鸣·····	(255)
第三十章	喉外伤 ·····	(256)
第一节	喉挫伤·····	(256)
第二节	喉切伤、刺伤及火器伤·····	(258)
第三节	喉烫伤及烧灼伤·····	(260)
第四节	喉插管损伤·····	(262)
第三十一章	喉的急性炎症性疾病 ·····	(264)
第一节	急性会厌炎·····	(264)
第二节	急性喉炎·····	(266)
第三节	小儿急性喉炎·····	(267)
第四节	小儿急性喉气管支气管炎·····	(269)
第五节	喉关节炎·····	(270)
第三十二章	喉的慢性炎症性疾病 ·····	(272)
第一节	慢性喉炎·····	(272)
第二节	声带小结·····	(274)
第三节	声带息肉·····	(255)
第三十三章	喉麻痹 ·····	(277)
第一节	概述·····	(277)
第二节	喉运动神经麻痹·····	(280)
第三节	喉感觉神经麻痹·····	(286)
第四节	喉肌肌病性麻痹·····	(287)
第三十四章	喉运动神经功能紊乱及发音障碍 ·····	(290)
第一节	成人喉痉挛·····	(290)
第二节	小儿喉痉挛·····	(291)
第三节	喉晕厥·····	(292)
第四节	癔病性失音·····	(292)

第三十五章 喉部良性肿瘤	(294)
第一节 喉乳头状瘤	(295)
第二节 血管瘤	(297)
第三节 软骨瘤	(297)
第四节 纤维瘤	(298)
第五节 神经纤维瘤	(298)
第六节 神经鞘膜瘤	(298)
第七节 腺瘤	(299)
第八节 粒细胞成肌细胞瘤	(299)
第三十六章 喉部恶性肿瘤	(300)
第三十七章 嗓音医学	(315)
第一节 急性声嘶	(315)
第二节 喉肌弱症	(317)
第三节 变声障碍	(320)
第四节 声音变异	(323)

第四篇 气管食管科学

第三十八章 气管、支气管及食管临床解剖学	(327)
第一节 气管、支气管临床解剖学	(327)
第二节 食管临床解剖学	(330)
第三十九章 气管、支气管及食管生理学	(334)
第一节 气管、支气管生理学	(334)
第二节 食管生理学	(335)
第四十章 气管、支气管及食管的内窥镜检查	(337)
第四十一章 气管、支气管异物	(351)
第四十二章 食管异物	(356)
第四十三章 食管腐蚀伤	(360)
第四十四章 气管食管学常见手术	(364)

第一节	气管、支气管异物取出术	(364)
第二节	食管异物探取术	(369)
第三节	食管扩张术	(372)
第四节	气管内活组织检查或肿瘤摘除术	(375)
第五节	食管活组织检查术	(376)
第四十五章	气管、支气管疾病	(378)
第一节	先天性气管畸形	(378)
第二节	气管、食管瘘	(380)
第三节	气管、支气管狭窄	(380)
第四节	支气管扩张	(381)
第五节	气管、支气管结核	(382)
第六节	肺脓肿	(383)
第七节	气管、支气管肿瘤	(384)
第四十六章	食管疾病	(388)
第一节	先天性食管畸形	(388)
第二节	食管憩室	(390)
第三节	食管穿孔或破裂	(392)
第四节	食管炎	(393)
第五节	食管咽下收缩肌瘫痪	(395)
第六节	食管贲门痉挛	(395)
第七节	食管肿瘤	(396)

第五篇 颈部科学

第四十七章	颈部应用解剖学	(399)
第四十八章	颈部检查法	(405)
第一节	颈部一般检查	(405)
第二节	颈部特殊检查法	(406)

第四十九章 颈部肿块	(408)
第一节 炎性肿块	(408)
第二节 良性肿块	(410)
第三节 恶性肿瘤	(415)

第六篇 耳科学

第五十章 耳的临床解剖学	(419)
第一节 颞骨	(419)
第二节 外耳	(424)
第三节 中耳	(427)
第四节 内耳	(434)
第五十一章 耳的生理学	(440)
第一节 听觉生理	(440)
第二节 平衡生理	(442)
第五十二章 耳的检查方法	(444)
第一节 耳的一般检查方法	(444)
第二节 咽鼓管功能检查法	(446)
第三节 听功能检查法	(448)
第四节 前庭功能检查法	(463)
第五节 耳部影像学检查法	(467)
第五十三章 耳的症状学	(469)
第五十四章 耳的先天性疾病	(473)
第一节 概述	(473)
第二节 先天性耳前瘘管	(474)
第三节 先天性外耳及中耳畸形	(475)
第四节 先天性内耳畸形	(478)
第五十五章 耳外伤	(480)
第一节 耳廓外伤	(480)

第二节	急性化脓性耳廓软骨膜炎	(484)
第三节	鼓膜外伤	(485)
第四节	颞骨骨折	(487)
第五十六章	外耳疾病	(493)
第一节	耳廓假性囊肿	(493)
第二节	外耳道炎	(494)
第三节	外耳道湿疹	(499)
第四节	外耳道胆脂瘤	(501)
第五节	外耳道真菌病	(503)
第六节	外耳道异物	(504)
第七节	外耳道耵聍栓塞	(506)
第五十七章	中耳疾病	(508)
第一节	大疱性鼓膜炎	(508)
第二节	分泌性中耳炎	(510)
第三节	急性化脓性中耳炎	(513)
第四节	急性乳突炎	(516)
第五节	慢性化脓性中耳炎	(519)
第六节	结核性中耳炎	(523)
第五十八章	耳源性颅内外并发症	(525)
第一节	概述	(525)
第二节	颅外并发症	(528)
第三节	颅内并发症	(532)
第五十九章	耳硬化症	(541)
第六十章	梅尼埃病	(544)
第六十一章	耳聋及防治	(549)
第一节	传导性聋	(549)
第二节	感音神经性聋	(550)
第三节	混合性聋	(553)
第四节	伪聋	(554)

第五节	功能性聋	(554)
第六节	助听器的选配	(555)
第七节	电子耳蜗	(557)
第六十二章	周围性面瘫	(561)
第六十三章	耳肿瘤	(565)
第一节	外耳道肿瘤	(565)
第二节	颈静脉球体瘤	(568)
第三节	中耳瘤	(569)
第四节	听神经瘤	(570)
第六十四章	耳部特殊疾病	(573)
第六十五章	耳部职业病	(576)
第一节	耳气压伤	(576)
第二节	噪声性聋	(577)

☆ 第一篇 鼻科学 ☆

第一章 鼻科学总论

第一节 鼻科学涵盖的范围

鼻科学属于耳鼻咽喉 - 头颈外科学中的分支学科,即三级学科。传统的鼻科学的主要研究内容是外鼻、鼻腔和鼻窦的发育畸形、炎症、良恶性肿瘤、手术修复等。随着学科发展的深入,鼻科学又进一步分为一些亚科,如鼻眼相关外科、鼻颅底相关外科和鼻一眼一颌面创伤外科等。鼻内窥镜外科技术是近年来在鼻外科领域兴起并得到广泛应用的优势和特色技术之一。国内许多医院开展了鼻内窥镜手术,而且手术总的治愈率达到 90% 以上,接近或超过国际水平。鼻科学领域具有国际水平的其他项目包括颅面联合径路前颅底和侧颅底肿瘤切除术、经颅脑脊液鼻漏修补术等,以及运用鼻内窥镜外科技术经鼻进行脑脊液鼻漏修补术,鼻咽纤维血